

令和元年度終了課題 住宅生産技術イノベーション促進事業 技術開発等の成果報告に関する評価総括表

番号	技術開発名	構成員	実施年度	成功点	残された課題	今後の展開への助言等
1	組立鉄筋ユニットを用いた住宅用基礎の設計・施工指針に関する技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)日本住宅基礎鉄筋工業会(JHR) ・千葉工業大学 ・福井大学 ・松崎 育弘 東京理科大学 名誉教授 ・(株)堀江建築工学研究所 	令和元年度	RC造基礎梁のシングル配筋における組立鉄筋ユニットの開発と配筋システムとして、「JHR設計・施工指針」のひな形(標準形)を作成した上で、JHR内の各参加団体で評定取得する仕組みを構築している。	現状では、「JHR設計・施工指針」に示した開発技術のうち、評定に組み込めた技術は、「配管のためのスリーブ補強ユニット」のみであり、他の技術は検討中である。製品として組み込むためには、構造性能のみではなく、日本全国の主要地域での、耐久性、施工性を含めた実用化に向けての検討が必要である。	「JHR設計・施工指針」を基に、JHR内の各参加団体の更なる第三者審査機関における評定の取得を進めることが求められる。また、「JHR設計・施工指針」による技術の更なる普及・展開のため、ハウスメーカー団体との連携(型式適合システムへの組み込みなど)も有効と考えられる。